

令和2年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

広い視野を持ち、心身共に健康で、創造性と実践力に富む、心豊かな児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

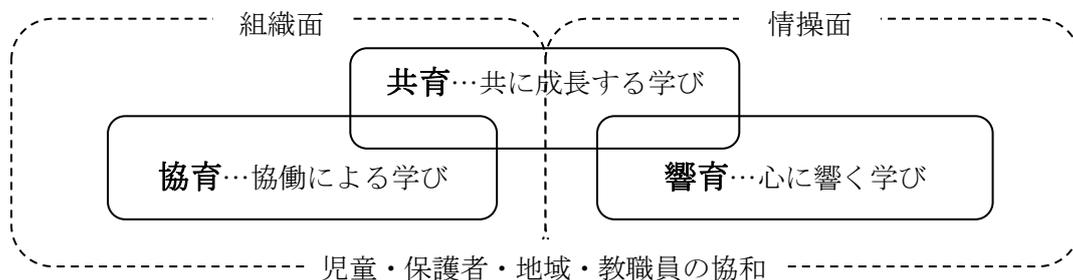
「時代を拓く日本人を育てる」

- ・よく学び考える子・・・「学力の基礎・基本」の確実な定着
- ・思いやりのある子・・・「他者を思いやる心」の育成
- ・たくましい子・・・活動の源となる「体力」の向上

挑戦したりやり抜いたりする「たくましさ」の育成

2 学校経営の理念

創立147年を迎え、歴史や伝統、豊かな自然や文化によって培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全教職員が連携・協働し、充実した教育環境のもと、本校の教育目標の達成を目指す。そのためには、全ての教職員が教育への情熱と使命感をもち、児童・保護者・地域住民と協和し、創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。また、地域とともにある学校づくりを目指し、家庭や地域や企業とも相互理解を深め、三育（共育・協育・響育）の精神をもって地域の教育資源を活用しながら、知・徳・体のバランスのとれた力、挑戦したりやり抜いたりするたくましさ、自らの夢の実現や社会貢献を指向する志をもった児童の育成に取り組む。



3 学校経営の方針

- 楽しく居がいのある学校づくり
- 新型コロナウイルス感染症対策「新しい生活様式」の構築
- 生きる力を育む教育実践
- 社会性の育成
- 地域とともにある学校づくり
- 資質向上の自己研鑽と教育環境の整備
- 働き方を意識した校内業務の効率化

「古里地域学校園教育ビジョン」 児童生徒一人ひとりに、将来の夢や希望をもたせるとともに、「学ぶこと」そして「心豊かにたくましく生きること」を自覚させ、社会的自立をめざす教育に小中が一貫して取り組む。

4 教育課程の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領、

栃木県教育委員会施策，宇都宮市教育委員会の基本方針や努力点の示すところに従い，本校教育課程を編成する。

- (2) 令和2年度の本校の教育目標の実現を目指して，各教科で育む資質・能力や目標・内容を明確化するとともに，地域や学校の実態及び児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮し，特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標

(1) 学校運営

- ・基本的な感染症対策に加え，「3つの密」を避けるための身体的距離の確保
- ・児童も教師もいきいきと活動する学校，児童も教師も成長する学校，地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」
- ・教職員が児童と向き合う時間を十分かつ適切に確保するため，積極的に業務改善に取り組む組織づくりの推進（金曜日課の設定 勤務時間内の会議等）

(2) 学習指導

- ・自分のめあてをもち，進んで取り組み，力を高め合う児童の育成

(3) 児童生徒指導

- ・一人一人が自信をもち，共に支え合いながら，生き生きと活動する児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食・安全）

- ・生涯を通して運動に親しもうとする態度を育成し，体力や健康に関する知識や技能を身に付け，自他の生命を尊重しながら，安全な生活を営む児童の育成

6 学習指導に関する取組

(1) 確かな学力の定着

- ・協働思考の場としての学び合い活動の充実・言語活動の質的向上
- ・習熟度別指導・T T（国語・算数）の充実
- ・読書指導やICTを活用した授業の充実
- ・個に応じた学習指導・支援の充実，個人差への配慮
- ・ステップアップシート等を活用した，既習事項の反復学習
- ・国語・算数の基礎学力向上をめざす，学びに即した「プロジェクトS」の充実

(2) 学び方の習得

- ・基本的な学習態度の徹底（姿勢・返事等）
- ・家庭学習の充実のための具体的指導（本校独自の「家庭学習の手引き」及び地域学校園「家庭学習のすすめ」活用）
- ・「めあて」「まとめ」「ふり返し」を明確にした授業の実践

(3) 望ましい学習環境づくりと活用

- ・地域の教育的素材・人材を効果的に生かした教育活動の充実
- ・図書資料やパソコン室利用の充実と活用
- ・教師と児童の望ましい信頼関係の構築
- ・運動に親しむ機会・体力向上の取組の充実

- ・教育相談の充実
 - ・互いのよさを生かし合う学習形態（ペア・グループ等）による課題への取組
- (4) 指導と評価の一体化
- ・効果的な学び合い活動や思考力・表現力を高めるための授業研究
 - ・学力向上のための各種学習状況調査、学習・生活アンケートの分析・結果公表と引き継

7 児童生徒指導に関する取組

(1) 進んで明るく元気なあいさつができる児童の育成

- ・古里地域学校園と連携した「あいさつ運動」を強化し、元気でいきいきとしたあいさつができる児童の育成を図る。
 - ア 全校児童によるあいさつ運動の実施（6，7，9，10，12，2月）
 - イ 中学生と一緒にを行うあいさつ運動の実施（5，11月）
 - ウ 児童会主催によるあいさつ運動の実施（5，1月）
- ・保護者や地域へのあいさつの広がりをもととして、保護者や地域住民のあいさつ運動への参加を促す。
- ・学校のあいさつ運動期間に合わせた家庭における啓発活動「お家もあいさつ運動+α」

(2) ルールやマナーを守り、進んで活動できる児童の育成

- ・学校のきまりの重点項目をまとめた「すてきなにじ色白沢っ子」を継続し、普段の学校教育活動全体と関連付けながら、はじめのあるいきいきとした生活ができる児童の育成を図る。

(3) 思いやりの心もち、互いを尊重し合って行動できる児童の育成

- ・人権教育と連携を図り、自己肯定感を高めることを目的としたカード交換などに取り組ませることにより、認め励ます教育を一層推進する。「ありがとうのふわふわ雲」(カード)の記入、交換、掲示。
- ・児童の悩みや交友関係について相談にのったり、より児童を理解したりする。
 - ア いじめアンケートの実施（6，9，11，2月）
 - イ いじめゼロアンケートと連携した「先生とお話しよう週間」の実施。（6，11月）
 - ウ いじめゼロ標語の掲示
 - エ いじめゼロ集会の実施（10月）
 - オ 本校オリジナルのいじめゼロゆるキャラの活用
- ・ブロック会や職員会議時の問題行動等の報告やいじめ等対策委員会（不登校対策委員会、特別支援委員会を含む）の実施により、共通理解を図り、全校体制による一貫した指導・支援の確立を図る。

8 健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

(1) 健康・体力の向上を目指すための具体策

- ・「新型コロナウイルス感染症の予防」に関する指導を行い、生活に生かせるようにする。
- ・元気っ子健康体力チェックを実施し、その結果に基づき、体育の補強運動や体力づくりの時間を活用して、各学年に応じた技能・体力の向上を図る。
- ・保健教育において自分の体位に関心をもたせ、健康の保持増進に努めさせるとともに、定期健康診断を活かしながら、健康の保持増進の方策を知らせる。
- ・児童が心身ともに健康で安全な生活を送ることができるよう、スタンダードダイアリーを有効活用し、学校生活の振り返りや自己の健康・体力・食への関心を深める。
- ・交通安全教室や不審者を想定した避難訓練を関係機関と協力して、定期的に実施する。
- ・学校・学年だより、保健・体力だより、食育だよりなどにより、本校の体力向上への取組に

ついでに理解を図り、保護者へ啓発を行う。

- ・体育の授業向上を目指し、要請訪問や授業研究会を行い、よりよい授業が行えるようにしていく。
- ・不得意な運動種目であっても自分の目標をもち、進んで運動に取り組むことができるように学習カードを活用したり、スモールステップ型の授業形態を積極的に取り入れたりする。
- ・業間に体力づくりを定期的実施し、体を思いきり動かす機会を設け、運動の日常化につなげる。
- ・学校が定めた運動に関する技能の目標が達成できた児童には、賞状を授与したり、集会で表彰したりすることで運動に親しむ態度を育成する。
- ・校内の大会・記録会（ドッジボール大会、水泳大会、長なわ大会、マラソン大会など）を本年度も実施し、練習期間を設定することで、運動に対する意欲や運動量の確保へとつなげていく。
- ・短時間で行える「ぷち避難訓練」を実施し、災害に対して、自分で判断し行動できる児童の育成に努める。
- ・古里地域学校園内で情報交換しながら、保健教育・食育の計画・実践に努める。
- ・保健の授業内容を充実させる（体験的な活動・ロールプレイング・学習カードの工夫）とともに、養護教諭とのTTやゲストティーチャーとの連携を図るなど、多様な指導方法を取り入れる。
- ・学年交流給食、異学年交流給食を実施し、同学年・他学年との親睦を一層深める。

(2) 地域や家庭との連携

- ・魅力ある学校づくり地域協議会の方針や活動を中心に学校行事や催し物を充実させ、生涯にわたって運動を行う素地を養う。
- ・「おにぎりの日」や「お弁当の日」を本年度も実施し、食育への関心が高まるよう、食育だよりに献立を載せるなど、家庭への啓発を行う。

9 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・「学力の基礎・基本」の確実な定着
- ・「他者を思いやる心」の育成
- ・挑戦したりやり抜いたりする「たくましさ」の育成

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇全学年で通年の朝の学習（プロジェクトS）の推進

◇読書活動の充実（読書ボランティアの活動）

- ・「ありがとうのふわふわ雲」による認め励ます教育の推進
- ・「すてきなにじ色白沢っ子」による月目標の徹底
- ・地域を生かした体験的学習の推進（谷川生き物調査、白沢で働く人にズームイン、田植え・稲刈り体験、県民の日奉仕作業等）

10 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

郷土愛・思いやり等の醸成のために、地域教材・伝統文化を積極的に活用する。

②主な取組

河内総合運動公園での諸大会開催，企業連携授業，家庭科ボランティア，環境学習，総合的な学習

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

夢や目標実現のため，よく考え，自ら鍛え，思いやりを磨き，生きる力を豊かにする。

②主な取組

地域学校園合同あいさつ運動，地域学校園食育講座

(3) 不登校対策

①基本的考え

自己肯定感をさらに高めさせ，認め励ます教育による居がいのある学級づくりを推進するとともに，各種交流活動によって他者への思いやりと協調性を育成する。

②主な取組

組織的な早期発見・早期対応体制

「ありがとうのふわふわ雲」，「先生とお話しよう週間」，異学年交流の場の確保